

令和2（2020）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	荒井中央公園	施設区分	施設管理型
施設所在地	郡山市安積北一丁目4番地	指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	施設所管部課	都市整備部公園緑地課

評価項目	評価基準	配点（標準点）	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1 平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。（例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限等）	2(1)	2	条例・規則に基づき、公平・平等な取り扱いを行った。町内会等の公的団体については、減免団体として使用料等の減免を行った。	2		
2 危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2(1)	2	危機管理マニュアルや緊急時連絡網を整備するとともに、予定した訓練を行った。怪人発生時や福島県沖地震では迅速に対応した。	1	各施設共通のマニュアルが整備されている。消防訓練も予定通り（年2回）実施されている。	
小計		4	4		3		

II 施設の効用の最大限の発揮							
3 管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	4	市が示した管理運営方針、仕様書に基づき、概ね水準どおり管理運営を行った。	3	職員が運営方針を熟知した上で、概ね市の仕様書通りに運営されていた。	
4 事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	4(3)	4	コロナ対策で中止した事業が2件、人数制限を行った事業が1件あった。また実施した事業においてはガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底した。	3	自主事業4件の内、コロナ感染症の観点から実施出来なかった事業が2件あった。実施した事業においては感染防止対策がなされていた。	
5 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理等）	4(3)	4	ウェブサイトにより施設情報を発信した。事業開催時には、ポスター・チラシの他、市の広報誌により周知を図った。	4		
6 接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	4	常日頃から名札着用を徹底し、適切な言葉づかいや態度を心がけて、受付・電話応対等に努めた。	3	苦情等が入ることはなく適切に対応していた。	
7 苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。）	4(3)	4	記録簿を作成し、苦情・要望・意見に適切に対応した。重要な案件については、速やかに市に報告した。	4		
8 市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の回遊、相互利用、地元とのタイアップ、積極性等）	4(3)	4	事業等の実施に当たっては、関係機関と連携・協力し、地元住民からの理解を得た。時間外や休館日は町内会等の地元団体に施設の貸し出しを行った。	4		
9 利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	3	改善すべき事項について、速やかに対応し、可能な限り改善を図った。	3		
小計		27	27		24		

III 管理経費の縮減							
10 帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	当社規程に基づき、厳格に帳簿等を管理した。契約等の実施においても、必要書類を整備し、適正に行った。社外監事による監査、公認会計士による会計指導を受けた。	5		
11 収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	3	複数業務の一括発注に努め、支出は適正に行った。また、独自の収入確保の手段について検討した。	4	雇外トイレ清掃業者・非常時対応業者に関して一括発注を行い、支出の削減に努めていた。	
小計		10	8		9		

IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12 人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	5	業務の有無や経験等種々、適切な人員配置を行った。コロナ対策講習会に参加し、職員の能力向上への姿勢が見られ、職員の能力向上に努めた。	3	財団共通で保健所のコロナ対策講習会に参加するなど職員の能力向上への姿勢が見られた。人員配置は計画通り。	
13 収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	5	収支状況は概ね良好で、指定管理会計の収支及び地価計輸入金を除いた収支はともに黒字であった。利用料金の増収もできた。	4	多目的広場の占有利用が発生し増収があった。	
14 連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	5	各種届出、報告、書類提出、協議、相談を適切に行った。また、地域や関係機関との連絡調整も適切に行った。	3	事業等について、事前に適切な協議がなされていた。	
小計		15	15		10		

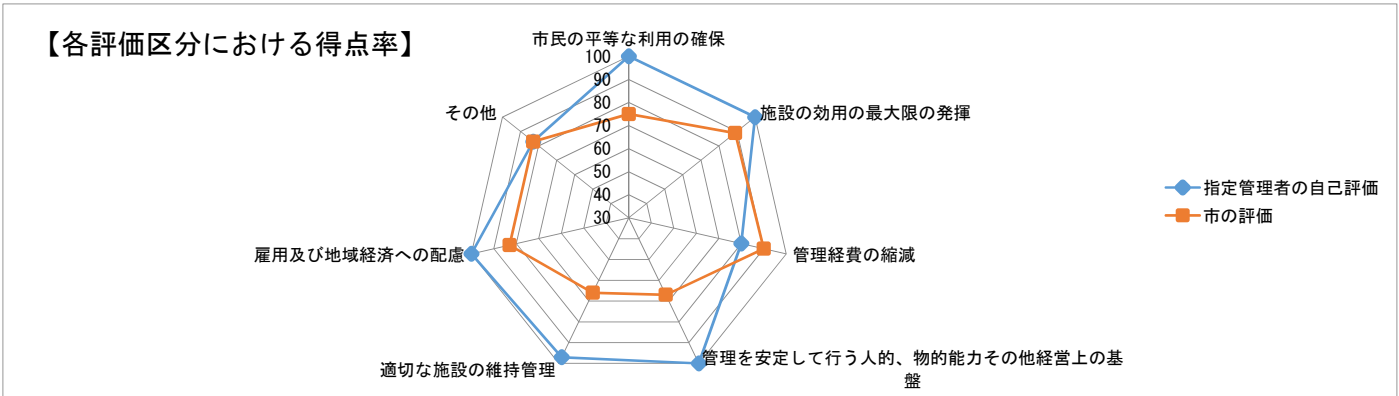
V 適切な施設の維持管理							
15 施設・設備の保守管理	法定点検が確実に実行されているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。（修繕を含む。）	12(5~7)	12	法定点検・定期点検を適期に行った。また、修繕等が必要な場合は、可能な限り速やかに実施し、適切な保守管理に努めた。	7	法定点検・定期点検を適期なく行い、修繕が必要な案件は速やかに対応が行われていた。	
16 安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	5(3)	5	建物・設備等の点検や危険箇所の把握を日常的に行い、安全に利用できるような努力をした。また、リスク対応のため保険に加入した。	3	点検は適期なく行われており、賠償責任保険にも加入している。また、職員により頻りに不定期巡回を行っていた。	
17 清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	5(3)	5	施設清掃、園内除草・清掃、雇外トイレ清掃、廃棄物処理等を計画どおり実施した。また、不適切掲示物等を発見した場合、速やかに撤去した。	4	委託業者による清掃活動の他、職員及び施設管理人員による巡回中の清掃も行われている。	
18 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	3(2)	3	損傷・滅失するとなく、台帳との整合性もとれるように適切に管理した。	2	備品台帳が更新され次第随時差し替えを行うなど適切に管理がなされている。	
19 持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。（例：持ち込み物品等管理簿、表示等）	3(2)	2	持ち込み物品等はない。	2		
20 法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	2	関係する法令、条例、規則等を遵守し、必要な点検、報告、手続きを行った。	2		
21 個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	2	当社規程に基づき適切に管理し、情報の漏洩、滅失等の事故防止に努めた。	1	財団共通の個人情報保護マニュアル・ハンドブックが整備されている。	
小計		32	31		21		

VI 雇用及び地域経済への配慮							
22 雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	3	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等を遵守した。また、法定を上回る有給休暇の取得ができるような環境づくりに努めた。	3		
23 地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	3	職員はすべて市内から雇用了。再委託業務は計画通り適正に行われ、可能な限り郡山市内の業者に発注した。消耗品についても市内の業者から購入した。	2	職員は市内から採用しており、また委託も全て市内に事業所のある業者に発注している。	
小計		6	6		5		

VII その他							
24 活動指標	設定した指標の目標値（開館日、情報発信回数）を達成しているか。	2(1)	2	コロナ及び福島県沖地震による臨時休館が2日あった。情報発信回数は約104%で達成できた。	2		
25 成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数）を達成しているか。	2(1)	1	コロナ及び福島県沖地震による臨時休館の影響により施設利用者数は約46%で、大幅に減少したが感染対策やコロナ禍での利用促進に向けた情報発信に注力した。	1		
26 指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。	2(1)	2	市に協力して積極的な管理運営を行った。また、地域や関係団体との円滑な関係構築に努めた。	2		
小計		6	5		5		
合計点		100	96		77		

	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	9,751	9,631				19,382
利用料金収入（千円）	7	12				19
利用者数（人）	21,282	9,900				19,401
二次評価（市の評価）	A	B+				
備考	令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が少なかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。				

- ・町内会などの公的団体・機関などに対して、平日の17時以降及び休館日の施設（ふれあい交流施設）貸し出しを行った。
- ・ふれあい交流施設の利用団体に対して、新型コロナウイルス対策の消毒セットの貸し出しを行った。
- ・落葉時には落ち葉の回収作業の回数を増やして、園内及び周辺の美化業務を行った。



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

S+	96	<p>厳しい状況の中、最大限の維持を行うことに注力することで、サービスの品質を保持できたと考えております。</p> <p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用では、条例や規則に基づき公平・平等な取り扱いを行い、占有により申請が必要な場合は丁寧に説明し、了解を得ることに努めた。 ・施設・設備等の維持管理では、各種の法定点検を漏れなく実施するとともに日常的な点検を行い、不具合が見つかった箇所は可能な限り修繕等を行った。 ・事業は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、4件中2件の自主事業を実施することができた。 ・管理経費の縮減は一定程度達成できており、収支状況は概ね良好であった。 ・新型コロナウイルス感染症対策でガイドラインを策定し、当施設から罹患者は確認されていない。 ・ガイドラインに基づく入場制限等を行う中で評価としては、お客様にも安心いただけるコロナ対策とその中で来館者数を確保できたと考えているが、新型コロナウイルスの影響によりお客様の反応も鈍く、従来の利用者数等目標値は達成できなかった。 <p>【次年度に向けて改善が必要な点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症や福島県沖地震の影響により、利用者数・利用者数とともに前年度を下回ったことから、その回復に努めるとともに「新しい生活様式」に対応した施設の運営方法を検討する必要がある。</p>
-----------	-----------	--

【二次評価（市による評価）】

B+	77	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒セットの貸出や各事業の開催見合わせ、保健所開催の講習会への参加など、新型コロナウイルス対策における積極性・柔軟性があった。 ・利用者自体は減少していたが、コロナ禍の中でも様々な媒体でのPRなど情報発信を怠らず、発信回数も目標値を上回っており、集客回復に向けての努力が見られた。 <p>【次年度に向けて改善を望む点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通物品の有無・取り扱いなど、職員間で認識が共有できていない点が見られたこと。 ・市への報告事項について、月報以外の記録が残っていないものが1件あり、記録簿等の管理徹底に努めること。
-----------	-----------	--

【改善のための行動計画】

行動計画	
【前年度の指摘事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の施設利用に対する暖房費用の節約及び水量施設の薬剤調節に努めながら経費等の節約に努めること。 ・敷地内の樹木管理により、現状以上に美観維持及び安全管理に努めること。
【改善対応状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の暖房費用については、利用者の理解を得ながら節約に努め、光熱水費の削減を図ることができた。 ・水量施設に係る経費については、塩素濃度をこまめに計測しながら適切な量の薬剤散布を行い、節約に努めた。 ・樹木管理については、適切な時期に敷地内の広葉樹剪定を行い、美観維持及び安全管理に努めた。